

コンクリート 3D プリンター形成物の 1 年間暴露試験

— 屋外環境での経過を確認 —



2026.5.4

コンクリート 3D プリンターで形成した試験体について、屋外環境での耐久性を確認するため、当社新津工場内で暴露試験を続けています。

試験開始から約 1 年が経過した時点で確認したところ、写真で確認できる範囲では、大きなひび割れや欠損、著しい変形、変色などは見られません。

3D プリンターによるコンクリート構造物の実用性を判断するには、長期的な経過確認データが存在しないことが大きなネックとなりますので、当社では今後も継続して観察を行い、屋外環境における変化や耐久性に関するデータを蓄積していきます。

今後も Polyuse ならびに機体を保有する共和コンクリート工業(株)技術研究所※との技術検証を通じ、コンクリート 3D プリンターを佐渡および新潟県内で実際の土木構造物に活用するための可能性を探っていきます。

※当社は 2026 年 1 月、共和コンクリート工業のグループ企業になりました



屋外暴露から 1 年経過 (2026 年 5 月 3 日撮影)